
「精索軟部肉腫の検討 全国がん登録データベースを用いた後方視的研究」

に関するお知らせ

このたび、全国がん登録から提供される患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、登録情報を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2016 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日の期間で、全国がん登録に精索発生軟部肉腫（ICD-10 コード C63.1）として登録された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

軟部肉腫は局所コントロールのために広範切除が必要ですが、希少がんでありかつ病理診断が多岐にわたることから診断困難な場合も多く、軟部肉腫の専門的な診療科を有さない施設においては必ずしも適切な診断と治療が行われていない可能性があります。精索に発生した軟部肉腫についての海外の報告では、11%の低い術前生検率や、25-55%の高い局所再発率、50%程度の低い 10 年生存率が報告されています。一方で国内において精索発生軟部肉腫は泌尿器科・外科・整形外科など複数の診療科で治療されており、多数の症例をまとめた論文はなく、同腫瘍に対しどのような治療が行われ、どのような結果となっているかすら不明です。

今回の目的は精索軟部肉腫について、全国がん登録から情報を収集し、先ずその国内における診療実態を明らかにすることです。国内における精索軟部肉腫の診療実態が明らかになることで今後必要な対策を立案することが可能となり、同疾患の治療成績向上につながり、臨床大きな意義があると考えられます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より 1 ヶ月後程度。

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

臨床情報：診断名、診断時年齢、組織診断名（和名）、分化度、ICD-10 コード、ICD-10 コード（和名）、局在コード（ICD-O-3）、診断根拠、診断時年齢、診断年月日、発見経緯、進展度・治療前、進展度・術後病理学的、進展度・総合、外科的治療の有無、観血的（外科的・鏡視下・内視鏡的）治療の範囲、放射線治療の有無、化学療法の有無、その他治療の有無

予後：原死因、生死区分、死亡日/最終生存確認日資料源、生存期間（日）

※この研究で得られた患者さんの情報は、提供時点で匿名化されており、埼玉医科大学国際医療センターの骨・軟部組織腫瘍科、研究責任者である鳥越知明が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

全国がん登録から匿名化した上で提供されるデータを用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科・整形外科 鳥越知明（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身の全国がん登録データを利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科/整形外科 鳥越知明

住所：350-1298 埼玉県日高市山根

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：精索軟部肉腫の検討 全国がん登録データベースを用いた後方視的研究

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科/整形外科 鳥越知明